

# まちの話題

身近な情報をお寄せください  
企画調整課広報広聴係  
(☎373-2111) (☎333)

## 今年の改正点

### 1、公的年金控除額の引き上げ

公的年金等控除額の定額控除額と最低保障額が次のように引き上げられました。

①定額控除(一) (内は改正前)

65歳以上の人	100万円 (80万円)
65歳未満の人	50万円 (40万円)

### 2、個人年金保険料控除額の引き上げ

②最低保障額(一) (内は改正前)

65歳以上の人	140万円 (120万円)
65歳未満の人	70万円 (60万円)

個人年金保険料が一般の生命保険料とは別に、生命保険料控除の対象になります。また、控除限度額も5千円から5万円に引き上げられました。これにより、一般の生命保険料と、個人年金保険料の生命保険料控除限度額は、それぞれ

### 3、寡婦(寡夫)控除に関する所得限度額の引き上げ

寡婦(寡夫)控除と、その適用要件の一つである所得限度額が、300万円から500万円に引き上げられました。

## 市政短信

### 広域農道推進協議会が設立

一月十八日、広域農道推進協議会「白根郷地区」推進協議会(広域農道推進協議会)の設立総会がサルナート吉運堂で行われました。これは大通川の東に加茂市、白根市、新潟市を有機的に結ぶ広域農道を整備しようというものです。白根市長を会長とする同協議会は、本市のほか新潟市、加茂市、白根郷土地改良区、亀田郷土地改良区、関係農協など十一団体で構成されています。

構想では延長約二十キロ、受益面積約五千五百ヘクタールというこの広域農道。点にする



### 若い根つこの家(埼玉県)で青年研修

十二月八日、九日、青年教育センターが主催した青年国内研修に、連合青年団などから九人の青年たちが参加し、埼玉県川越市の若い根つこの家などを訪問しました。若い根つこの家は昭和三十六年に建てられた青年活動の拠点で、全国から多くの若者たちが訪れています。

研修では講演や自由討議などのほか、交流会で白根弁で本市を紹介する寸劇も披露。「誇りにし、自慢できるふるさとがある



係に相談してください。

●今月の納税  
国民健康保険税(9期)納期限は2月28日(木)です。忘れずに納めましょう。

●税務署からのお知らせ  
新潟税務署では、納税相談会場の混雑を防ぐため、庁舎前にプレハブの相談会場を設置しています。このため、駐車場のスペースがありません。自家用車での来署はご遠慮ください。

なお、税理士会による相談も随時行われますので、ご利用ください。

また、2月23日(土)、3月9日(土)は休業日です。ご注意ください。

## 税務課からのお知らせ ☎373-2111

収税管理係 (内251) 市民税係 (内241) 資産税係 (内253)

●固定資産台帳の縦覧  
平成3年度の固定資産課税台帳をお見せします。昨年中に家屋の新築や増改築、土地の地目変換や分合筆などをしてきた人は、ぜひご覧になって、自分の資産評価を確かめてください。

□縦覧期間 4月6日(土)25日(木) 午前8時30分～午後5時 (第1・第3土曜日は正午まで、第2土曜日・日曜日は除く) □縦覧場所 税務課資産税係(市役所2階)

●償却資産の申告  
申告期限は1月31日まででしたが、まだ申告の済んでいない人は、税務課資産税係で手続きをしてください。

●未納の市税  
本年度の市税の納入は、国民健康保険税の9期分と10期分を残すだけとなりました。もし、未納の市税があったら、早めに納めてください。やむを得ない事情で納められない人は、税務課収税管理

### 元旦マラのはしごをする人も 新飯田地区元旦マラソン

新年を祝う新飯田地区の恒例行事「元旦マラソン」。一キロ、三キロ、五キロと歩け歩きの四つのコースに百十二人が参加して、走り(歩き)初めをしました。「好天に恵まれ、当初の申し込みよりも参加人数が増えました」と、主催した公民館の関係者はにっこり。

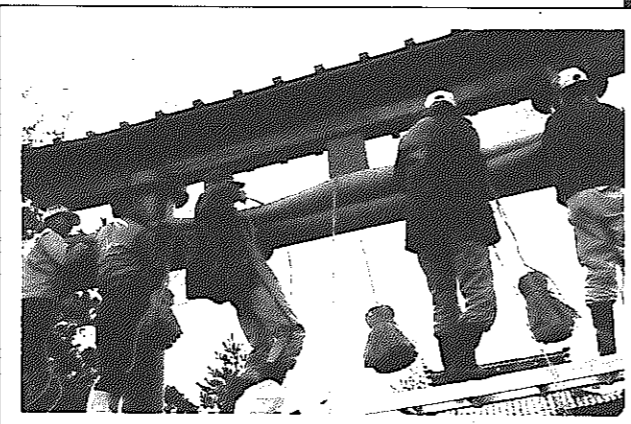
参加者の中には、三キロを走り終わった後、五キロのコースも走るといふ人や元旦マラソンのはしごをするというスーパーマンも。走り終えた参加者たちには、スポーツ推進委員や近くのお母さんたちの協力で、温かい豚汁がサービスされていました。



### 上々の出来栄に満足 戸石新田しめ縄作り

年末の十二月二十三日、戸石新田伝統の八幡宮のしめ縄作りが行われました。三組に別れ、掛け声に合わせて、持ち寄ったわらの束を差し込みながら、細縄を力いっぱい巻き付けていくこの作業、寒さも吹き飛ばす汗だくの仕事です。出来上がった三本のしめ縄は一つに束ねられ、竜に見立てて鳥居に取り付け、その中の一本の端を跳ね上げて出来上がり。

昔は青年会がしたというこの作業も、今はお年寄りが中心です。若い人たちから受け継いでほしいと話す皆さん。無病息災の願いを込めた今年の上々のしめ縄も上々の出来栄でした。



### 「足早いクリスマスを楽しむ」手をつなぐ親の会

身体障害者の子供を持つ親たちがつくる「手をつなぐ親の会」では、十二月二十三日青年教育センターでクリスマスおたのしみ会を開催。同会の家族や先生など五十人が集まり、一足早いクリスマスを楽しみました。

おたのしみ会は、まず、サンタクロースが登場。プレゼントを子供たちに手渡すと「サンタさんありがとう」の大きな声。子供たちの歌や踊り、先生のマジックなどに、会場は大きな笑い声や拍手が絶えません。同会会長の高橋重夫さんは「子供たちが伸び伸びと楽しむ姿を見ると、心が温まります」と話していました。



### 半世紀ぶりに伝統復活 中鷲ノ木

一月十五日、中鷲ノ木部落と同部落スポーツ振興会の主催で、約半世紀ぶりにさいの神が行われました。これは伝統的な行事が消えて行く中で、子供たちの思い出と企画したもの。スポーツ振興会の山田会長は「作り方などを知っている人がいないので、大通団地に行事のやり方を聞きに行きました。みんな喜んでくれ、ぜひ続けていきたい」と話します。小雪のちたつ中、八十人余りがスルメやしめ縄を持ち寄り、行事の復活を喜んでいました。

この日は高井団地や大通団地でも、さいの神で小正月を楽しみました。

